様式３（2020.08改）

作成日　令和２年９月３０日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371500774
事業所名	サポートハウスごくらく

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	利用者が散歩や買い物に出かける際には、顔見知りの住民が声掛けし見守ってくれる。 地域との関係は年月を経て構築され、ホームは自然なかたちで存在している。 利用者は個々に町内会に入会しており、回覧板も回ってくる。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	利用者、地域包括支援センター職員、民生委員等の参加を得て、運営推進会議を定期的に開催している。 年間6回のうち3回は同法人の近隣ホームとの合同開催であり、会議は報告に留まらず、提案、意見交換が活発に行われている。 コロナ禍、書面や電話連絡で会議メンバーや行政へ報告している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	地域包括支援センター職員が、毎回運営推進会議に参加しており、協力関係ができている。 書類提出や手続きのため、区役所や地域包括支援センターとのやり取りも多く、ホームの取り組みを随時報告している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	面会等、要望や意見を聞く機会は多く、毎月「サポートハウス通信」が家族のもとに届けられており、家族からの信頼は厚い。 コロナ禍においては面会制限があるが、家族の意見や要望は書面やメールで聞いている。 家族アンケートからの要望も検討し、ケアの質をさらに向上させたいと考えている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

令和2年3月と5月の運営推進会議は、書面開催として会議メンバーに連絡し、電話にて意見を聞いている。
8月には、同法人の近隣ホームとの共催で通常の運営推進会議を開催した。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○										